

～経鼻弱毒生インフルエンザワクチン フルミスト点鼻液について～

平素より、当園の感染症対策にご理解・ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。急激な冷え込みにより、免疫力は低下し色々な感染症に罹患しやすい時期ですね。感染対策として、うがい・手洗いはもちろんの事、栄養たっぷりの食事や休息をしっかりと取る事はとても大切な事です。

さて、今年から小児を対象にインフルエンザワクチンの経鼻弱毒性ワクチンが接種可能となりました。すでに経鼻予防接種を実施した方もおられると思いますが、こちらのワクチンについて、注意点等を以下に記します。ご参考にさせていただき、安全に保育園生活が過ごせますようにと思っております。

◎ 総称名 : フルミスト

◎ 薬効分類 : ウイルスワクチン類 (経鼻弱毒性生インフルエンザワクチン)

※従来の皮下注射のワクチンは不活化ワクチンです。

◎ 禁忌 : 1. 明らかな発熱を呈している者
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな者
4. 明らかに免疫機能に異常がある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者
5. 妊娠していることが明らかな者
6. 上記に揚げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

◎ 接種要注意者 : 1. ゼラチンを含む製剤のため、ゼラチンを含む食品に対してショック、アナフィラキシー等の過敏症がある者
2. 心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患・発育障害等の基礎疾患がある者
3. 予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた者及び全身発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
4. 過去にけいれんの既往がある者
5. 重度の喘息を有する者又は喘息の症状を有する者
6. 鶏卵・鶏肉・その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある者 など

◎ 用法 : 2歳以上19歳未満の者に、鼻腔内に噴霧する

※2歳未満の小児等に対しては本剤を接種しないこと。

- ◎ 重要な基本的注意 : 1. 接種時は、健康状態が良好な事
2. 接種当日は過激な運動は避け、また、接種後の健康監視に留意し、体調の変化、さらに高熱等の異常な症状を呈した場合は、速やかに医師の診察を受ける。
3. 本剤は弱毒性インフルエンザワクチンであり、飛沫又は接触によりワクチンウイルスの水平伝播の可能性があるため、ワクチン接種後1～2週間は、重度の免疫不全者との密接な関係を可能な限り避けるなど、必要な措置を講じること。

☆上記赤字にしてありますように、本ワクチンを接種した後、咳やくしゃみなどの飛沫または接触することにより、他者にインフルエンザワクチンウイルスを移してしまう可能性があります。集団生活という事、未満児という事もあり園児全員が免疫力や抵抗力が大人よりも弱い事、マスクをする事ができない年齢だという事などからも、インフルエンザワクチンウイルスによる水平伝播のリスクが高いと考えます。

以上のことから、大変恐縮ですが、当園ではフルミスト点鼻薬でのワクチン接種をされたお子様につきましては、ワクチン接種後1～2週間は当園を控えていただき、ご家庭での保育をお願いいたします。

(※従来の皮下注射のインフルエンザワクチンを接種されたお子さんは、予防接種後24時間様子観察していただく従来の対応で大丈夫です)

保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、未満児のみの集団生活における感染予防という点で、ご理解ご協力をお願いいたします。